

器 24 知覚検査又は運動機能検査用器具
(一般)医療機器 歩行分析計(35757000)

シート式下肢加重計 ウォークWay MW-1000

【禁忌・禁止】

〈併用医療機器〉

1) 他の機器と組み合わせて使用する場合はそれぞれにアースを接地すること。

〈使用方法〉

1) 本装置は防爆型ではないので、装置の近くで可燃性及び爆発性の気体を使用しないこと。

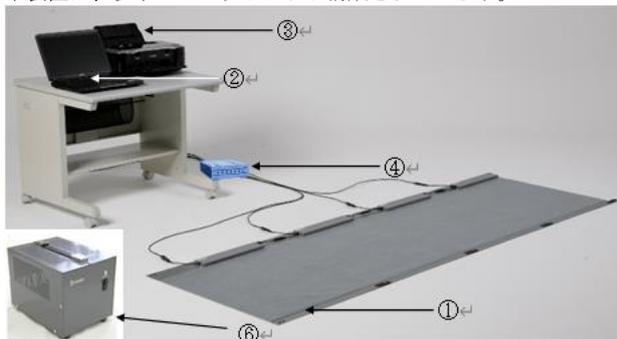
【形状・構造及び原理等】

〈品目の概要〉**

本装置は、センサユニット、コンピュータ、プリンタ、USB ハブ、アイソレーショントランス（オプション）付属品からなります。

〈構成〉

本装置は、以下のユニットにより構成されています。



- ① センサユニット
- ② コンピュータ
- ③ プリンタ
- ④ USB ハブ
- ⑤ 付属品 (USB ケーブル)
- ⑥ アイソレーショントランス (オプション) **

装置の詳細な構成は、装置付属の取扱説明書を参照してください。

〈動作原理〉

センサユニットが踏まれると、センサユニットが圧力を感じ、その情報が USB ケーブルによりコンピュータへ出力されます。それらの信号から、コンピュータは時間因子（立脚、遊脚時間）、距離因子（歩幅、歩隔）、接地足跡等の計算を行います。

各解析項目の用語の説明

時間因子

歩行の特性を表す立脚・遊脚など、時間の次元に関する要素

距離因子

歩行の特性を表す歩幅・歩隔など、距離の次元に関する要素

ストライド

片側の足が着床した位置から同じ足が着床するまでの距離又は期間、2 歩の距離又は期間と同じ

立脚期

足が体を支えている期間、足が着床している期間

遊脚期

足が浮いている期間、足が離床している期間

両脚支持

両足ともに着床している期間

杖着床時間差

足が着床してから杖が着床するまでの時間、又は杖が着床してから足が着床するまでの時間

杖 X

基準足から見た X 軸方向の杖の距離

杖 Y

基準足から見た Y 軸方向の杖の距離

スピード

歩行距離を歩行時間で割った数値

ケーデンス

1 分間あたりの歩数

歩幅

片側の足が着床してから別の足が着床するまでの距離、1 歩の間の距離と同じ

歩隔

片方の足の踵と他の足の踵との左右の幅

歩行角度

右足から左足、または左足から右足の踵どうしを結んだ線と進行方向とのなす角

つま先角度

進行方向に対しての、つま先の開き角

装置の作動・動作原理の詳細は、取扱説明書を参照してください。

【使用目的】

〈使用目的〉

人の歩行時における時間因子（立脚、遊脚時間）、距離因子（歩幅、歩隔）、接地足跡等の歩行状態が、数値化及び可視化することを目的とし、これにより、歩行の基本データが分析できます。歩行に関連した問題の診断及び矯正措置計測の支援に用います。

【使用方法等】

〈使用方法〉

1. 設置条件、使用環境条件

- ① 床の平坦な場所に設置してください。
- ② 床の堅い場所に設置してください。
- ③ 計測目的以外に踏まれることのない場所に設置してください。
- ④ 物が落下したり、置かれたりしない場所に設置してください。

2. 使用方法

- ① 接続
ア) センサユニットをそれぞれ接続します。

取扱説明書を必ずご参照ください。

- イ) センサユニットにUSBケーブルを接続し、それぞれをUSBハブに接続します。
- ウ) USBハブ、プリンタをコンピュータに接続し、電源ケーブルを接続します。
- ② 電源の投入
 - コンピュータの電源を入れます。
- ③ 計測
 - ア) 計測プログラムを起動します。
 - イ) 『再検査』または『新規検査』を選択します。
 - ウ) 氏名・ID等の検査条件を入力します。
 - エ) 操作画面の表示に従い計測を開始します。
 - オ) 被検者にセンサユニットの上を歩行させます。
 - カ) 計測が終了したら、データを保存します。
 - キ) 計測プログラムを終了します。
- ④ 解析
 - ア) 解析プログラムを起動します。
 - イ) 保存したデータを選択します。
 - ウ) 解析結果が表示されます。
 - エ) 必要に応じて印刷します。
 - オ) 解析プログラムを終了します。
- ⑤ 終了
 - コンピュータの電源を切ります。

装置の詳細な取扱は、装置付属の取扱説明書を参照してください。

【使用上の注意】

1. 機器の使用前の注意事項
 - ① 電気的安全上必ずアースを設置してください。
 - ② 振動、水・高湿度のない計測環境を選んで設置してください。
 - ③ センサユニットの下に異物がないか、信号ケーブルを踏んでいないかを確認してください。
 - ④ 電源スイッチがONの時、電源コード、アースコード、信号入出力コード等の接続、着脱はしないでください。
 - ⑤ 他の機器との併用はしないでください。
2. 機器使用時の注意事項
 - ① 機器全般及び患者に異常がないか常に監視してください。
 - ② 機器及び患者に異常が発見された場合には、患者の安全を確保し、機器の使用を中止してください。
 - ③ 被検者がセンサユニットにつまづくことのないように誘導介助をしてください。
3. 機器の使用後の注意事項
 - ① 計測を終了したら装置本体の電源を切ってください。
 - ② 清浄してください。
4. 他の機器と組み合わせて使用する場合の注意事項
 - ① それぞれの機器毎に、アース設置をしてください。
5. 機器の清掃に関わる注意事項
 - ① センサユニットの清掃の際は、アルコールや有機溶剤を使用せず、中性洗剤を用い、布拭きしてください。

【保管方法及び有効期間等】

保管方法

センサユニットに異常な衝撃荷重、負荷がかからない場所と方法で保管してください。また、センサユニットに水や高湿度が及ばないように保管してください。

＜耐用期間＞

6年 [自己認証(当社データ)による]

(但し、指定された使用環境において標準的な頻度で使用され、指定の保守点検と定期交換部品・消耗品交換をした場合の年数であり、使用状況によっては異なる場合がある)

【保守・点検に係る事項】

- ① 本体を手入れする際は、必ず電源コードを抜いてから行ってください。感電の原因になる恐れがあります。
- ② 長期間使用しなかった機器を再度使用する時は、使用前に、必ず機器が正常かつ安全に作動することを確認してください。感電や故障の原因となる恐れがあります。

＜清掃・消毒・減菌の方法＞

詳細は取扱説明書を参照ください。

＜使用者による保守点検事項＞

1) 日常点検

点検項目	点検時期
通電前に各ケーブルに異常がないかご確認下さい。	始業時
センサーシート部にやぶれや異物が付着していないことをご確認ください。	
センサーの間に異物が挟まっていないことをご確認ください。	

点検の内容および方法の詳細は取扱説明書を参照してください。

＜業者による保守点検事項＞

「使用者による保守点検事項」と同様です。

【主要文献及び文献請求先】

1. 主要文献
 - 土屋 和夫 監修 臨床歩行分析懇談会 編
『臨床歩行分析入門』
 - 窪田 俊夫・山崎 信寿 編著
『歩行分析データ活用マニュアル -床反力編-』
2. 文献請求先
 - アニマ株式会社
住所：東京都調布市下石原 3-65-1
TEL：042-487-6111
FAX：042-487-6116

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称】

製造販売業者：アニマ株式会社
電話番号：042-487-6111

製造業者：アニマ株式会社 本社工場
：アニマ株式会社 浜松工場

【販売業者(販売店)】